

国際出願制度



日本がPCTに加盟して40年が経過しましたが、PCT国際出願件数は年々増加し企業のグローバル化が進んできています。また、意匠でも、日本は近年ハーグ協定（ジュネーブ改正協定）に加盟し、国際出願の重要性は高まっています。

このように、重要性が増している国際出願ですが、国際出願に関する取り組みはどのようなものがあるのか、国際機関ではどのような業務が行われているのか、ユーザはどのように国際出願制度を活用しているのか気になる方もいるのではないのでしょうか？

そこで、本特集では、国際出願制度の歴史や近年の動向及び取り組み、国際機関における業務、ユーザによる国際出願制度の活用について、ご紹介いたします。

「働き盛りの40代、特許協力条約（PCT）と日本」

「PCT 協働調査試行プログラムについて」

「WIPO におけるPCT 関連業務について」

「三菱電機グループにおける国際出願制度の利用について」

「我が国加入以降の意匠の国際登録に関するハーグ制度の動向について」

「外国出願補助金の紹介」